

指示待ち人間はダメ！



工業科の1年生の実習で、図面を見て板金に線を描きちりとりを制作している際、最初は手順を説明しその後自分で図面を見ながら考えなさいと作業をさせたところ、一、二本線を引くたびに「次はどここの線を引いたらいいですか」と幾度も聞いてきた生徒がいた。「図面を見て考えなさい」と突き放す。今度はそれを折り曲げる段になり、その手順を説明した後にもまた同じ生徒が、「次はどこを折ったらいいですか」と、またもや聞いてきた。

これは人ごとではなく皆さんも同じような状況にないでしょうか。「いつも指示をされないと動けない」、「自分で考えることが出来ない」人間では社会に出て使い物になりません。

社会に出ると最初から全て自分でやらなければならない場面もあるかもしれませんが、最初はそれなりの説明を受け、後はそれぞれの創意工夫で仕事を進めていくのが一般的でしょう。誰でもが出来るような仕事をしていたのでは日本の企業は成り立ちません。他で出来ないことを様々な創意工夫により自分のところで出来るとそこに付加価値が出てくるのです。

そんな難しい要求ではなくとも、これから社会に出て行く皆さんは、せめて日常から自分で考えて仕事を進める気構えと訓練が必要のように思われます。

未就職者今だ多し



長野県内の高校生の就職内定率は9月末現在40.5%で、10月末においてもまだ半数近くが決まっていないようです。本校でもまだ20人程就職が決まっています。最近にない深刻な状況で、様々な機関が何とか就職を開拓しようと必死で取り組んでいます。日本のみならず世界中の景気が一向に回復してくる様子が無く、明るい見通しが全く立たない状況です。

本校でも就職支援員の唐澤さんのおかげで、幾つかの企業から新たな求人を頂き、少しずつ会社見学に出かけたり二次募集に応募していますが、まだ残った生徒全員に回せる様な状況ではありません。

年明けの景気の状況如何によって、また求人が出てくる可能性もあるかもしれません。学校としても何とか一人でも多くの生徒の就職が決まるように引き続いて努力していきたいと思っています。

なお不幸にして卒業式が過ぎても職が決まらなかった生徒は、来年6月までは新卒扱いのことですので、学校としての支援をしていきたいと考えています。それ以降は各自がハローワークで職を探すことになってしまいます。

ともあれ、あまり選り好みを言っている状況ではありませんので、求人のある会社には出来るだけ見学に行き、少しでも良いと思ったらチャレンジしていきましょう。



進学者のインフルエンザ

進学希望者の入試がそろそろ始まっています。世間では新型インフルエンザが大分広がりがつありますが、進学希望者は体調管理に努めましょう。万が一新型インフルエンザにかかった場合は、試験日をずらす等の処置をしてくれる学校が増えていますので、進路室もしくは受験する学校に申し出てください。なおそうした場合は診断書が必要のようです。